

静岡県月例経済報告

(令和3年12月号)

……令和3年10月を中心とした県内経済のすがた……

No. 548

—静岡県経済産業部—

目 次

| | |
|------------------------|----|
| I 静岡県経済の概況 | 1 |
| II 静岡県主要経済指標の概況 | 6 |
| ・需要面 | 6 |
| ・生産面 | 14 |
| ・雇用面 | 16 |
| ・その他 | 19 |
| III 静岡県主要産業の動向 | 23 |
| IV データからみた県内主要産業 | 26 |

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和3年10月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和3年10月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が緩和に向かいつつあるが、供給面の制約等により足踏み状態が続いている。

先行きについては、ワクチン接種の進展や行動制限の緩和による持ち直しの動きが期待されるが、新型コロナウイルス変異株等の動向に十分注意する必要があるほか、原材料価格の動向や部品供給停滞等の影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。

- ・ 個人消費は、供給制約などの影響を受けている一部品目を除き、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、供給制約などの影響を受けている一部品目を除き、持ち直しの動きがみられる」

大型小売店販売額(10月)は、スーパーが前年実績を下回ったものの、百貨店が前年実績を上回ったため、総額でも5か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(10月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストア、ホームセンターが前年実績を下回ったものの、ドラッグストアが前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(10月)は、乗用車、軽自動車がいずれも前年実績を下回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(10月)は、分譲住宅が前年実績を下回ったものの、持家、貸家が前年実績を上回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(10月)は、7か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(9月調査)の令和3年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（10月）は、3か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（10月）は、原動機が9か月ぶり、自動車が5か月連続、二輪自動車類が8か月ぶりに前年実績を下回ったものの、エアコン、自動車の部分品がいずれも8か月連続、科学光学機器が4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額（10月）は、紙類及び同製品が3か月ぶり、自動車の部分品が10か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品が4か月連続、木材が8か月連続、パルプが7か月連続、原動機が9か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,018億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱めの動きとなっている」

鉱工業生産指数(10月)は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品が6か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械が4か月連続、輸送機械が5か月連続、化学が5か月ぶり、食料品・たばこが3か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも2か月連続で前年実績を下回った。また、前月比は4か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数(10月)は、総合では2か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる」

有効求人倍率(10月)は1.16倍で、前月を0.05ポイント下回り、5か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員(10月)は、5か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(9月)は、6か月ぶりに前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(10月)は、前年同月比 1.9%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(10月)は、前年同月比 37.2%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産(11月)は、件数は19件(前年同月比 18.7%増)と、前年実績を上回り、負債総額は1,191百万円(同 28.1%減)と、前年実績を下回った。

企業の皆様、働く皆様へ

ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度 促進事業



「ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度」
 感染拡大防止対策が充実している飲食店であることを、静岡県が現地確認を行った上で、認証するものです。認証された店舗には左の認証マーク（ステッカー）を交付します。また、認証店として専用ホームページで紹介します。

「ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度」の認証店及び認証の取得に取り組む店舗の感染防止対策を支援する補助事業を実施します。

| | |
|-------------|--|
| 補助対象者 | 「ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度」の認証店又は認証申請店 |
| 補助対象経費 | 新型コロナウイルス感染防止対策のため、設備や消耗品の購入等に要した費用 ・領収書に記載された支払日の期間が令和2年1月6日(月)から令和3年12月31日(金)までのもの ・体温測定器、CO ₂ 濃度測定器、換気装置、オゾン発生装置、パーティション、消毒液、マスク等の物品購入費や設置費等 |
| 補助率 | 10/10 |
| 補助上限額（下限無し） | 申請施設の専用箇所のうち、利用客又は従業員が立ち入って使用することを想定した箇所の面積※に応じて設定されます。 ※他の施設との共有箇所、駐車場、倉庫、機械室、ゴミ置き場などを除く。 ①200㎡未満 10万円 ②200㎡以上400㎡未満 20万円 ③400㎡以上 30万円 |
| 申請期間 | 令和3年6月30日～令和4年1月21日 ※この期限以前に受付を終了することがあります。 |
| 申請先 | ・電子申請サイト（ https://fujinokuni-ninsho.jp ） ・書面申請は〒420-0853 静岡市葵区追手町2番12号 静岡安藤ハザマビル2F ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度事務局宛てに簡易書留で郵送してください。 |

お問い合わせ先

ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度事務局
 （電話 0570-020-112） 平日8:30～17:15

企業参加型コミュニティ 「しずおか産業創造プラットフォーム」を 令和3年12月22日に開設しました！



1 「しずおか産業創造プラットフォーム」の概要

「しずおか産業創造プラットフォーム」は、県内で新たな事業に取り組む企業等に対し、国、県等の支援情報を一元的に提供するとともに、困りごとや協業の相談等、様々なメンバーとの交流の場をオンライン上で提供します。

2 「しずおか産業創造プラットフォーム」の特長

(1) 支援情報が見つかる

国、県、公的支援機関等の企業向け支援情報（補助金、融資制度、専門家派遣等）をデータベース化し、利用目的等から検索することが可能です。

(2) 様々なメンバーとの交流

困りごと・協業相談等、公的支援機関や様々な企業との交流が可能です。
※会員制コミュニティサイトへの登録が必要（無料）

(3) タイムリーな情報配信

支援情報、セミナー・イベント情報をタイムリーに配信します。
※会員制コミュニティサイトへの登録が必要（無料）

しずおか産業創造プラットフォーム

ホーム 概要 新着情報 支援制度を探す 外部リンク お問い合わせ

新たな事業展開に向けたヒントを得るためのオンラインコミュニティ /

しずおか産業創造プラットフォーム

しずおか産業創造プラットフォームとは

しずおか産業創造プラットフォームは、県内で新たな事業に取り組む企業等の皆様に対し、国、県等の支援情報を一元的に提供するとともに、困りごとや協業の相談等、様々なメンバーとの交流の場を提供します。

ポータルサイト上で、国、県、公的支援機関等の企業向け支援情報（補助金、融資制度、専門家派遣等）をデータベース化し、利用目的等から検索することが可能です。

また、会員制のコミュニティサイト（登録無料）を設け、自社の困りごとや協業の相談等、テーマ別に交流が可能です。コミュニティメンバーには、支援情報や、セミナー・イベントの開催情報等をフッシュ型でタイムリーに配信します。

しずおか産業創造プラットフォーム オンラインコミュニティ 新規アカウント登録はこちら (登録無料)

しずおか産業創造プラットフォーム オンラインコミュニティ コミュニティへのログインはこちら

新着情報

※内容の詳細につきましては、必ず御自身で確認をお願いします。
また、御不明な点につきましては、実施機関へお問い合わせ願います。

セミナー 補助金 イベント 商談会 アドバイザー その他

| | |
|-------------|---|
| 2021年12月24日 | 【マッチングサイト】静岡県製造業検索サイト「ものナビ」公開のお知らせ（静岡県産業振興財団） |
| 2021年12月24日 | 【補助金等】新型コロナウイルス感染症関連補助金等支援策パンフレット作成のお知らせ（中小企業庁） |
| 2021年12月24日 | 【説明会】申込1/5（水）<切>「A-SAP プロジェクト説明会」開催のお知らせ |

【問合せ先】静岡県経済産業部産業政策課

電話：054-221-2650 メール：sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の利用状況

(R3年12月20日時点)

| 区分 | | 申込状況 | | |
|--------|---|--------------|-------------|--|
| | | 金額 | 件数 | 業種別の状況 |
| R 2 | 新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12~4.17終了】 | 億円 2,334 | 件 8,158 | 卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%等 |
| | 国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1~R3.3.31】 | 億円 8,064 | 件 53,666 | 建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、宿泊・旅行業1.3%等 |
| | 新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28~R3.3.31】 | 億円 447 | 件 1,268 | 製造業22.4%、卸小売業19.5%、建設業19.0%、飲食業5.4%、宿泊・旅行業3.0%等 |
| R 3 | 新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R3.4.1~】 | 億円 166 | 件 2,050 | 建設業33.6%、卸小売業17.3%、製造業11.8%、飲食業11.7%、宿泊・旅行業1.6%等 |
| | 新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別枠(新)【R3.4.1~】 | 億円 160 | 件 1,052 | 建設業24.0%、卸小売業20.5%、製造業20.2%、飲食業11.3%、宿泊・旅行業3.5%等 |
| | 再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)(新)【R3.4.1~】 | 億円 4 | 件 15 | 製造業60.0%、運輸業40.0%、建設業0.0%、卸小売業0.0%、飲食業0.0%、宿泊・旅行業0.0%等 |
| 計 | | 億円 11,175 | 件 66,209 | リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9~H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4~H24.3：1年間) |

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート)前年同月比の推移

(%)

| 区分 | R2年 12月 | R3年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|-----------------|------------|-----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|
| 農・林・ 漁・鉱業 | ▲26.8 | ▲5.1 | ▲18.9 | 10.1 | 41.2 | ▲17.0 | ▲10.3 | 47.3 | 0.6 | ▲7.4 | ▲15.8 | 8.6 |
| 建設業 | 6.9 | 17.6 | 15.9 | 12.5 | 16.1 | 2.0 | 4.8 | 7.1 | 13.7 | 7.9 | 1.4 | 6.4 |
| 製造業 | ▲21.7 | ▲10.2 | 1.2 | 13.8 | 20.8 | 51.6 | 51.5 | 55.8 | 70.3 | 42.0 | 29.4 | 45.9 |
| 卸売・小売業 | ▲18.7 | ▲6.1 | ▲17.9 | ▲7.7 | ▲3.6 | ▲3.9 | 18.2 | 17.4 | 4.5 | 11.1 | 14.6 | 13.7 |
| 金融、保険 不動産業 | ▲8.0 | ▲35.6 | ▲25.1 | 12.7 | ▲15.0 | 7.3 | 11.1 | ▲20.5 | 33.3 | 6.1 | ▲35.6 | ▲26.3 |
| 運輸業 | ▲31.6 | ▲18.7 | ▲15.7 | ▲3.3 | ▲13.8 | ▲3.2 | ▲0.5 | 13.4 | ▲0.1 | 10.7 | 23.5 | 1.8 |
| 情報通信業 | 10.3 | ▲2.5 | 5.7 | 64.5 | ▲11.5 | 16.5 | 16.6 | 9.0 | 23.5 | 4.3 | 2.8 | ▲5.4 |
| 飲食、宿泊 サービス業他 | ▲26.3 | ▲10.0 | ▲6.9 | 1.3 | 27.0 | 31.8 | 8.8 | 48.8 | 24.8 | 4.6 | 26.2 | ▲14.9 |
| 県全体 | ▲19.1 | ▲3.0 | ▲7.8 | 1.7 | 11.4 | 14.3 | 15.2 | 23.5 | 16.5 | 11.5 | 13.5 | 17.8 |

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

| 区分 | R2年 12月 | R3年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|-----------------|------------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 農・林・ 漁・鉱業 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 建設業 | 4 | 3 | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 4 | 3 | 4 | 4 | 7 |
| 製造業 | 5 | 3 | 1 | 10 | 0 | 4 | 4 | 2 | 0 | 3 | 4 | 2 |
| 卸売・小売業 | 2 | 4 | 2 | 4 | 6 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 4 | 2 |
| 金融、保険 不動産業 | 0 | 1 | 4 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 運輸業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 情報通信業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 飲食、宿泊 サービス業他 | 7 | 3 | 3 | 1 | 4 | 6 | 3 | 3 | 3 | 4 | 6 | 5 |
| 県全体 | 19 | 15 | 13 | 18 | 18 | 15 | 13 | 13 | 8 | 15 | 20 | 19 |
| うちコロナ 関連倒産 | 4 | 4 | 5 | 5 | 3 | 4 | 4 | 4 | 0 | 7 | 2 | 1 |

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

10月 = 35,908百万円

*前年同月比： 0.8%増

(県内3百貨店、149スーパー合計)

<概況>

10月の大型小売店販売額は35,908百万円で、前年同月比 0.8%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 0.5%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店（同 7.8%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（同 4.2%減）が5か月連続、飲食料品（同 0.3%減）が4か月連続、家庭用品（同 2.5%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 0.8%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.6%減と、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 販売額(百万円) | 35,990 | 34,190 | 35,975 | 35,897 | 36,878 | 35,700 | 33,849 | 35,908 |
| 前年同月比(%) | ▲0.4 | 8.1 | 3.6 | ▲1.8 | ▲0.1 | ▲6.2 | ▲2.1 | 0.8 |
| うち百貨店(%) | 15.4 | 125.2 | 74.5 | 2.4 | 1.0 | ▲17.5 | ▲8.5 | 7.8 |
| スーパー(%) | ▲3.0 | ▲0.5 | ▲2.6 | ▲2.6 | ▲0.3 | ▲4.7 | ▲1.1 | ▲0.5 |
| (参考1)全国前年同月比(%) | 3.0 | 15.5 | 5.7 | ▲2.2 | 1.3 | ▲4.7 | ▲1.3 | 0.9 |
| うち百貨店(%) | 21.8 | 158.3 | 61.9 | ▲1.6 | 4.6 | ▲11.3 | ▲4.2 | 3.0 |
| スーパー(%) | ▲2.7 | ▲0.9 | ▲1.9 | ▲2.5 | 0.2 | ▲3.0 | ▲0.3 | 0.1 |
| (参考2)県前年同月比(店舗数調整前) | 1.5 | 8.7 | 4.3 | ▲0.5 | 1.2 | ▲6.1 | ▲3.0 | ▲0.6 |

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|
| 衣料品 | 7.2 | 109.5 | 28.7 | ▲13.2 | 3.8 | ▲22.6 | ▲10.4 | 0.8 |
| うち紳士服・洋品 | ▲3.6 | 78.4 | ▲0.7 | ▲25.3 | 3.4 | ▲21.5 | ▲6.0 | ▲2.2 |
| 婦人・子供服・洋品 | 12.2 | 130.1 | 42.4 | ▲8.2 | 2.1 | ▲25.5 | ▲12.9 | 3.5 |
| 身の回り品 | 19.8 | 108.0 | 58.8 | ▲4.9 | ▲9.5 | ▲23.8 | ▲18.2 | ▲4.2 |
| 飲食料品 | ▲2.5 | ▲1.5 | ▲0.8 | 0.8 | ▲0.4 | ▲3.2 | ▲0.3 | ▲0.3 |
| 家庭用品 | ▲6.5 | 5.9 | ▲1.7 | ▲16.2 | ▲1.3 | ▲16.5 | ▲8.0 | ▲2.5 |
| うち家庭用電気機械器具 | 0.2 | 6.3 | ▲3.6 | ▲20.9 | ▲6.9 | ▲25.0 | ▲13.2 | ▲4.3 |

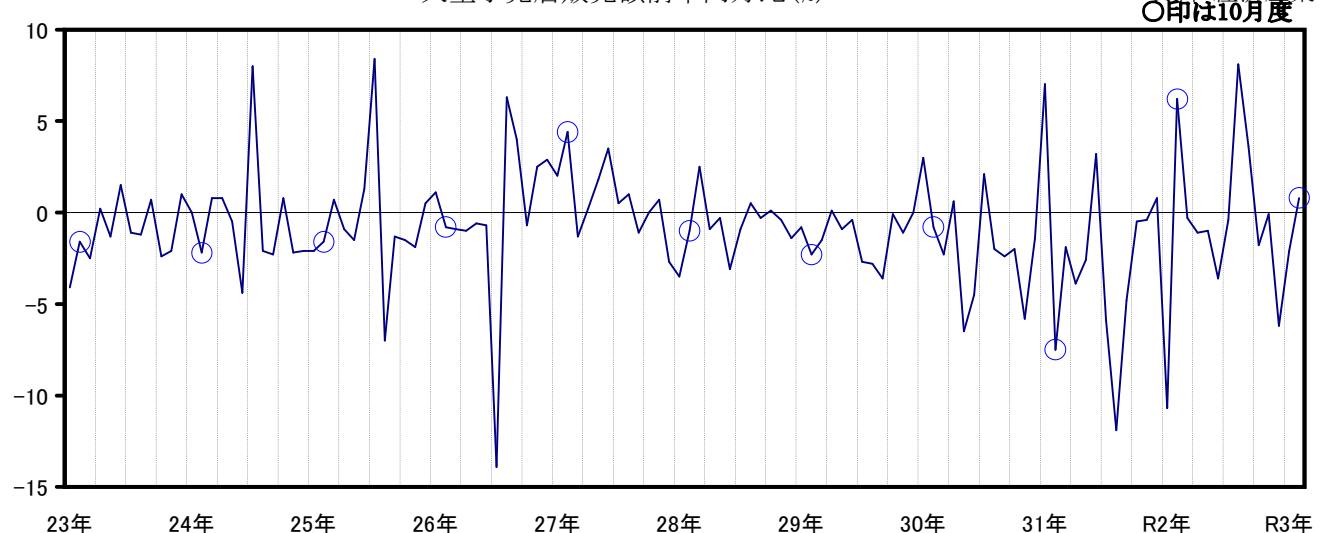
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

10月 = 72,819百万円

*前年同月比： 1.1%増

(県内92家電大型専門店、1,685コンビニエンスストア、546ドラッグストア、106ホームセンター合計)

<概況>

10月の専門量販店等販売額は72,819百万円で、前年同月比 1.1%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 2.1%減）が5か月連続、コンビニエンスストア（同 1.6%減）が3か月連続、ホームセンター（同 1.4%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、ドラッグストア（同 6.5%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 販売額（百万円） | 74,321 | 70,408 | 73,497 | 71,230 | 77,319 | 75,608 | 70,986 | 72,819 |
| 前年同月比（%） | 3.7 | 1.7 | 1.3 | ▲ 3.3 | 2.0 | ▲ 5.9 | 0.4 | 1.1 |
| うち 家電大型専門店（%） | 10.5 | 9.7 | 3.4 | ▲ 22.7 | ▲ 9.4 | ▲ 22.5 | ▲ 7.0 | ▲ 2.1 |
| コンビニエンスストア（%） | 5.4 | 5.5 | 4.0 | 0.3 | 5.4 | ▲ 3.7 | ▲ 0.4 | ▲ 1.6 |
| ドラッグストア（%） | 1.2 | ▲ 2.7 | 2.6 | 4.4 | 5.0 | 4.1 | 5.8 | 6.5 |
| ホームセンター（%） | ▲ 2.1 | ▲ 3.7 | ▲ 10.4 | ▲ 10.8 | ▲ 2.1 | ▲ 18.8 | ▲ 4.0 | ▲ 1.4 |
| (参考)全国前年同月比（%） | 2.7 | 4.8 | 2.0 | ▲ 4.6 | 2.1 | ▲ 5.7 | 0.3 | 1.4 |

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

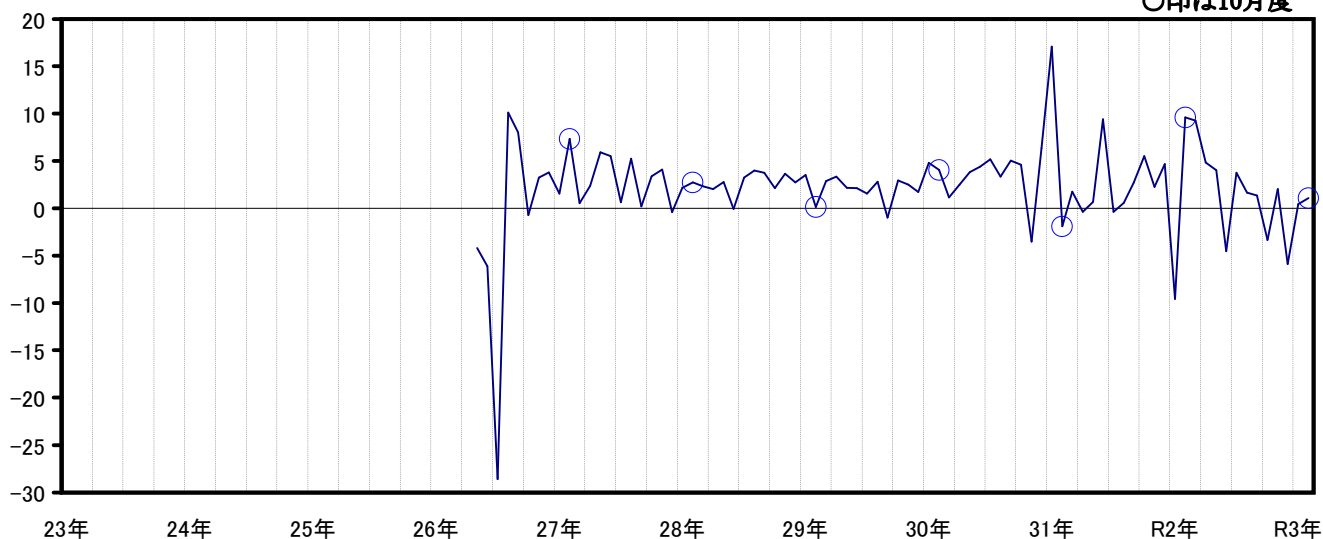
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は10月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**10月 = 9,239 台**

*前年同月比： 35.6%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

10月の自動車(新車)新規登録台数は9,239台(前年同月比 35.6%減)と、4か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 35.0%減)が2か月連続、軽自動車(同 36.2%減)が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 登録台数(台) | 21,764 | 12,497 | 10,774 | 12,350 | 13,429 | 11,008 | 10,296 | 9,239 |
| 前年同月比(%) | 6.9 | 33.8 | 45.8 | 5.0 | ▲ 3.2 | ▲ 3.7 | ▲ 37.8 | ▲ 35.6 |
| (参考)全国前年同月比(%) | 5.2 | 31.5 | 50.0 | 4.5 | ▲ 6.4 | ▲ 2.5 | ▲ 34.3 | ▲ 32.2 |

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

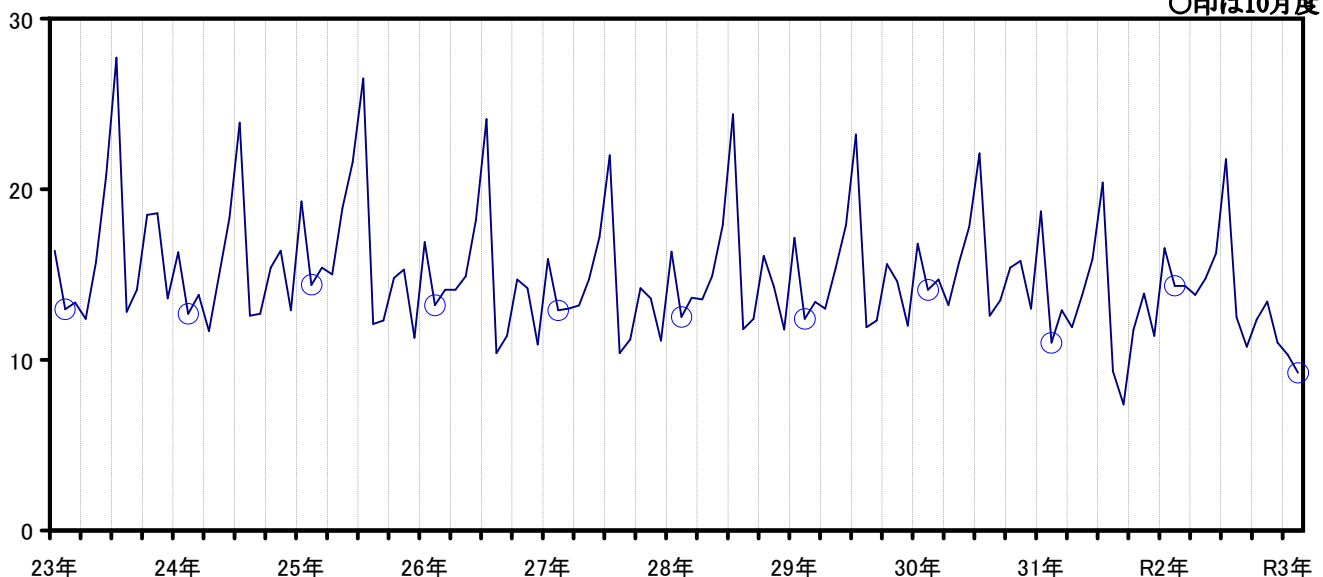
(単位：%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|------|-------|------|------|-----|-------|--------|--------|--------|
| 全乗用車 | 6.9 | 33.8 | 45.8 | 5.0 | ▲ 3.2 | ▲ 3.7 | ▲ 37.8 | ▲ 35.6 |
| 乗用車 | 1.7 | 31.5 | 27.7 | 4.4 | 2.5 | 4.4 | ▲ 38.4 | ▲ 35.0 |
| 軽自動車 | 12.9 | 36.4 | 69.1 | 5.6 | ▲ 9.2 | ▲ 11.6 | ▲ 37.2 | ▲ 36.2 |

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は10月度

(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

10月 = 2,079 戸

*前年同月比： 25.2%増

<概況>

10月の新設住宅着工戸数は2,079戸で、前年同月比 25.2%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 2.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 17.0%増）が7か月連続、貸家（同 71.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|-------|
| 戸数 (戸) | 1,648 | 1,931 | 1,775 | 1,831 | 1,632 | 1,793 | 1,641 | 2,079 |
| 前年同月比 (%) | 1.5 | 8.9 | 15.2 | 2.3 | ▲ 14.2 | 11.6 | ▲ 7.4 | 25.2 |
| うち持家 (%) | ▲ 8.2 | 6.7 | 24.9 | 7.0 | 5.2 | 20.8 | 2.4 | 17.0 |
| 貸家 (%) | 28.3 | 21.0 | 3.4 | 4.9 | ▲ 31.1 | 6.0 | ▲ 30.3 | 71.7 |
| 分譲住宅 (%) | ▲ 3.7 | ▲ 3.6 | 18.3 | ▲ 15.4 | ▲ 34.2 | ▲ 1.8 | 3.9 | ▲ 2.4 |
| (参考)全国前年同月比 (%) | 1.5 | 7.1 | 9.9 | 7.3 | 9.9 | 7.5 | 4.3 | 10.4 |

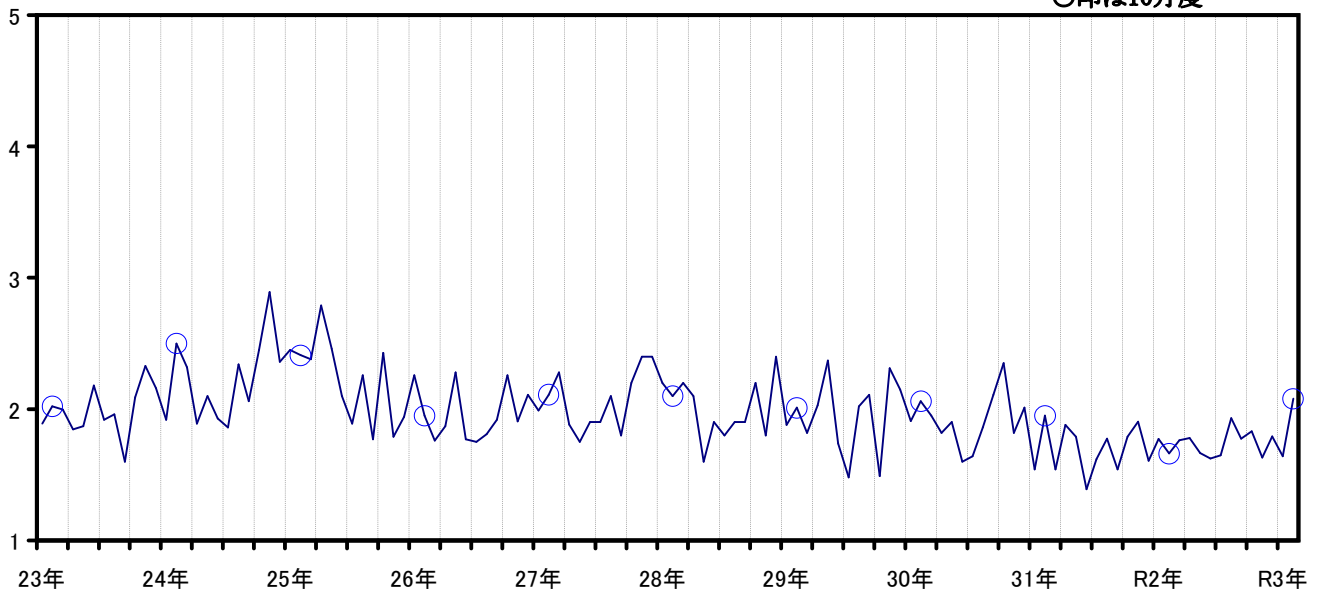
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は10月度



3 公共工事請負金額

10月 = 29,681百万円

*前年同月比：35.7%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

10月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は29,681百万円で、前年同月比35.7%増となり、7か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は731件で、前年同月比6.8%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 金額（百万円） | 21,866 | 56,596 | 41,641 | 41,156 | 35,953 | 30,420 | 45,659 | 29,681 |
| 前年同月比（%） | 3.3 | ▲17.5 | ▲19.9 | ▲33.3 | ▲12.8 | ▲18.3 | ▲14.1 | 35.7 |
| 年度累計前年同月比（%） | 0.2 | ▲17.5 | ▲18.5 | ▲23.5 | ▲21.6 | ▲21.1 | ▲19.9 | ▲16.3 |
| 件数（件） | 460 | 687 | 596 | 775 | 843 | 776 | 1,076 | 731 |
| 前年同月比（%） | 21.7 | 3.5 | 20.6 | 6.6 | ▲1.6 | ▲0.8 | ▲15.5 | ▲6.8 |
| 年度累計前年同月比（%） | ▲1.3 | 3.5 | 10.8 | 9.2 | 5.8 | 4.3 | ▲0.9 | ▲1.8 |

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

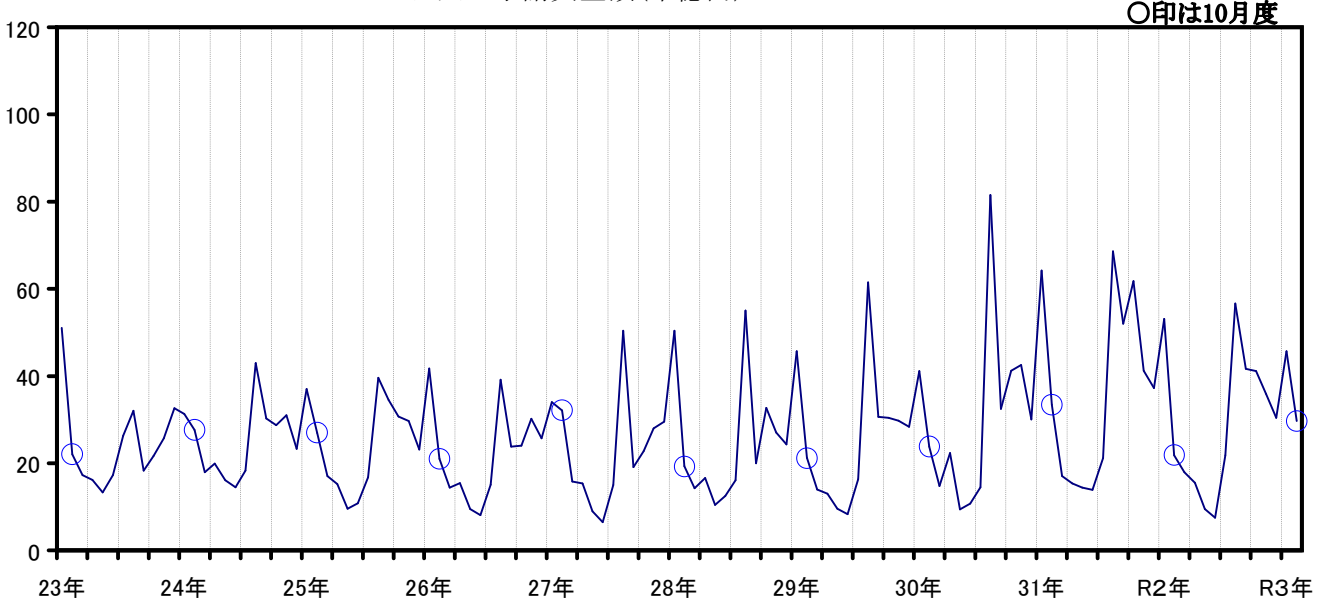
| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|---------|---------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|---------|
| 国 | ▲21.2 | 56.5 | 37.3 | ▲9.3 | ▲9.1 | ▲29.5 | ▲2.7 | 2.6 |
| 独立行政法人等 | 23.7 | ▲51.9 | ▲47.4 | ▲72.3 | ▲49.2 | ▲82.3 | 35.8 | 199.7 |
| 県 | 40.7 | ▲17.5 | 7.7 | 11.6 | 14.5 | 1.8 | ▲17.2 | 5.8 |
| 市町 | ▲5.6 | ▲20.4 | ▲10.6 | ▲21.4 | ▲20.0 | ▲3.2 | ▲31.6 | ▲13.1 |
| 地方公社 | - | 1,120.8 | - | - | ▲23.3 | 1,120.6 | ▲62.7 | ▲70.6 |
| その他 | 1,387.2 | 22.8 | ▲64.2 | ▲30.4 | ▲6.7 | 14.4 | ▲67.3 | 1,772.5 |

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和2年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少した。

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 22.8%増）、非製造業（同 0.3%増）、全産業（同 10.7%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 13.4%増）、非製造業（同 4.4%増）、全産業（同 10.8%増）においていずれも増加する計画となっている。

10月の着工建築物床面積（非居住用）は129,560㎡で、前年同月比 26.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

| | | R2年度 (実績) | R3年度 (計画) |
|------|----|--------------|----------------|
| 全産業 | 県 | ▲10.8 | (▲2.2) 10.7 |
| | 全国 | ▲8.5 | (0.8) 7.9 |
| 製造業 | 県 | ▲17.2 | (▲2.4) 22.8 |
| | 全国 | ▲10.0 | (0.5) 12.0 |
| 非製造業 | 県 | ▲4.3 | (▲2.0) 0.3 |
| | 全国 | ▲7.5 | (1.0) 5.5 |

（ ）内は前回調査比修正率)

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

| | | R2年度 (実績) | R3年度 (計画) |
|------|----|--------------|----------------|
| 全産業 | 県 | ▲7.6 | (▲1.3) 10.8 |
| | 全国 | ▲8.5 | (0.0) 9.3 |
| 製造業 | 県 | ▲8.3 | (▲1.0) 13.4 |
| | 全国 | ▲7.7 | (▲0.3) 10.1 |
| 非製造業 | 県 | ▲5.8 | (▲2.0) 4.4 |
| | 全国 | ▲9.4 | (0.4) 8.4 |

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和3年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和3年9月調査)」

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------------------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 着工建築物床面積（非居住用）（㎡） | 117,345 | 93,072 | 66,308 | 114,873 | 108,318 | 135,765 | 110,714 | 129,560 |
| 前年同月比（%） | 32.3 | 5.2 | ▲42.1 | ▲10.1 | ▲18.4 | 34.7 | 24.5 | 26.1 |
| (参考) 全国前年同月比（%） | 14.9 | 3.0 | 4.9 | 12.6 | 5.9 | ▲14.6 | ▲4.9 | 46.6 |

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料> 国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

| | | R3年6月 | R3年9月 | R3年12月 (予測) |
|-------------|------|-------|-------|----------------|
| 全産業 | 全産業 | ▲5 | ▲5 | ▲5 |
| | 製造業 | ▲2 | 1 | ▲1 |
| | 非製造業 | ▲9 | ▲11 | ▲8 |
| (参考) 全国・全産業 | | ▲3 | ▲2 | ▲5 |

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和3年9月調査)」

5 輸出

10月 = 193,005百万円

*前年同月比： 1.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸出総額は193,005百万円で、前年同月比 1.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 6.1%減）が9か月ぶり、自動車（同 31.8%減）が5か月連続、二輪自動車類（同 17.7%減）が8か月ぶりに前年実績を下回ったものの、エアコン（同 7.1%増）、自動車の部分品（同 9.6%増）がいずれも8か月連続、科学光学機器（同 20.5%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 2.3%減）が14か月ぶり、EU向け（同 3.0%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 11.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 輸出総額(百万円) | 221,606 | 202,397 | 198,629 | 217,026 | 215,432 | 192,201 | 212,554 | 193,005 |
| 前年同月比(%) | 22.5 | 37.2 | 93.3 | 73.4 | 51.1 | 36.8 | ▲2.0 | 1.6 |

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 原動機 | 23.4 | 75.0 | 181.6 | 140.4 | 64.2 | 68.0 | 65.4 | ▲6.1 |
| エアコン | 18.9 | 21.9 | 211.2 | 90.9 | 65.3 | 20.4 | 18.7 | 7.1 |
| 自動車 | 44.5 | 250.5 | 407.7 | ▲41.6 | ▲41.5 | ▲39.2 | ▲46.1 | ▲31.8 |
| 自動車の部分品 | 3.3 | 13.1 | 85.9 | 103.2 | 109.5 | 51.3 | 47.4 | 9.6 |
| 二輪自動車類 | 34.2 | 71.7 | 322.1 | 211.1 | 83.3 | 115.3 | 11.9 | ▲17.7 |
| 科学光学機器 | ▲4.7 | 9.2 | ▲6.4 | ▲3.3 | 48.9 | 7.9 | 12.8 | 20.5 |

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----|-------|------|-------|-------|------|------|-------|------|
| アジア | 32.5 | 33.7 | 49.6 | 70.2 | 50.2 | 33.4 | 23.1 | ▲2.3 |
| 米国 | ▲5.9 | 16.3 | 115.3 | 105.2 | 81.0 | 52.0 | ▲27.7 | 11.1 |
| EU | 43.3 | 76.0 | 207.4 | 49.8 | 4.8 | 31.4 | ▲11.7 | ▲3.0 |

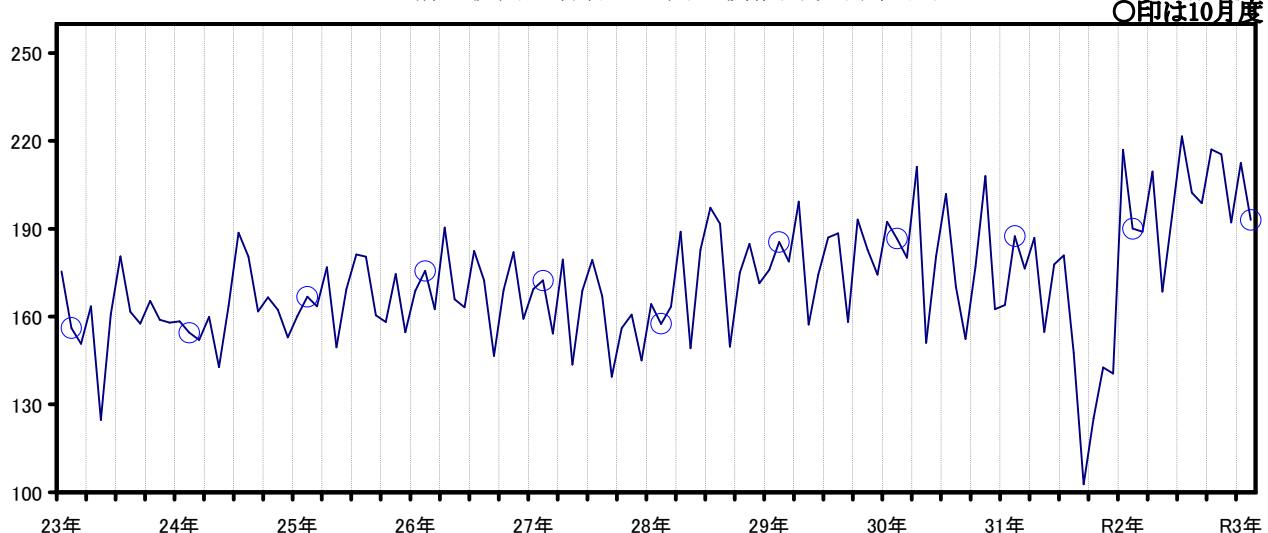
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

10月 = 91,157百万円

*前年同月比： 1.7%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

10月の清水税関支署管内の輸入総額は91,157百万円で、前年同月比 1.7%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 27.3%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 2.0%減）が10か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 0.7%増）が4か月連続、木材（同 49.0%増）が8か月連続、パルプ（同 73.5%増）が7か月連続、原動機（同 29.2%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジア向け（前年同月比 9.8%減）が9か月ぶり、米国向け（同 5.7%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、EU向け（同 7.6%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------|---------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 輸入総額(百万円) | 106,941 | 101,089 | 93,740 | 99,695 | 101,724 | 90,603 | 96,315 | 91,157 |
| 前年同月比(%) | 20.1 | 15.4 | 24.0 | 33.5 | 41.1 | 28.5 | 33.2 | 1.7 |

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 魚介類及び同調製品 | 25.0 | 9.9 | 17.0 | ▲ 21.9 | 22.3 | 37.4 | 9.9 | 0.7 |
| 木材 | 14.0 | 6.7 | 5.8 | 8.1 | 24.8 | 72.5 | 169.4 | 49.0 |
| パルプ | ▲ 20.1 | 24.0 | 43.2 | 19.0 | 39.1 | 66.1 | 46.9 | 73.5 |
| 紙類及び同製品 | ▲ 22.5 | ▲ 16.0 | ▲ 10.3 | ▲ 14.5 | ▲ 18.4 | 26.8 | 13.3 | ▲ 27.3 |
| 原動機 | 22.9 | 10.0 | 52.6 | 44.8 | 86.4 | 110.2 | 47.8 | 29.2 |
| 自動車の部分品 | 34.6 | 13.5 | 67.0 | 136.0 | 54.6 | 47.0 | 50.1 | ▲ 2.0 |

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

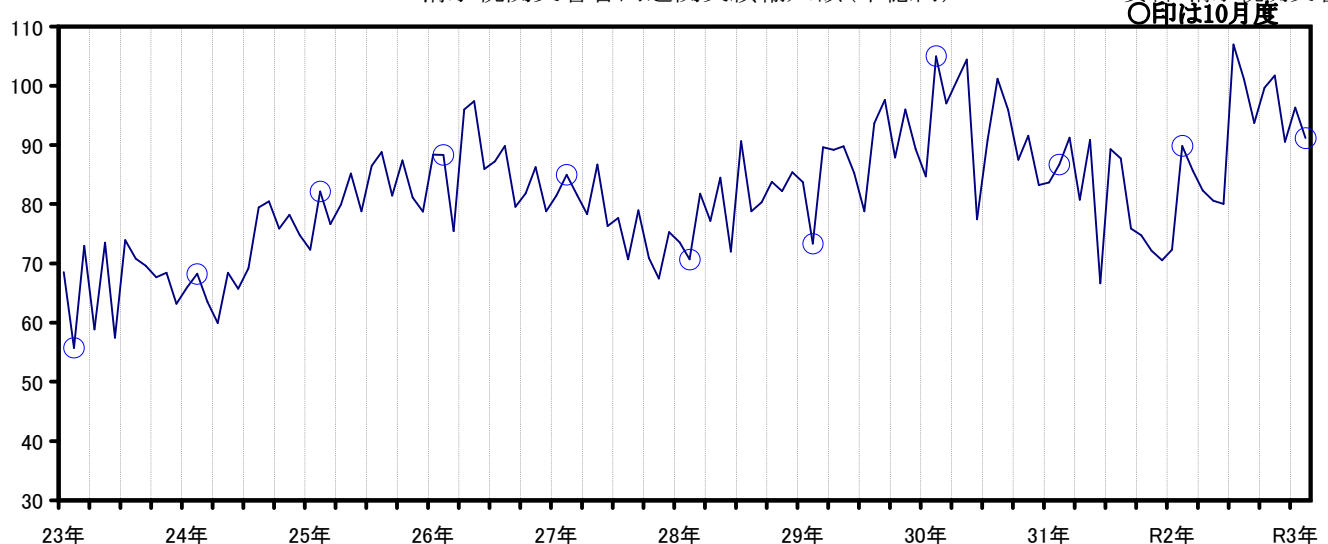
| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----|-------|--------|--------|--------|------|-------|------|-------|
| アジア | 28.2 | 21.0 | 35.7 | 41.2 | 36.2 | 26.3 | 28.5 | ▲ 9.8 |
| 米国 | ▲ 6.9 | 17.2 | ▲ 38.9 | 1.3 | 42.8 | ▲ 1.8 | 50.5 | ▲ 5.7 |
| EU | 19.2 | ▲ 11.8 | 21.9 | ▲ 12.1 | 17.4 | 12.7 | 21.5 | 7.6 |

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

10月 = 86.1

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.6%増

*前年同月比(原指数) : 9.6%減

<概況>

10月の鉱工業生産指数(総合)は86.1(季節調整済指数)で、前月比は4.6%増と、4か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は9.6%減と、2か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 22.8%増)が7か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 0.4%増)が6か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同 20.0%減)が4か月連続、輸送機械(同 21.6%減)が5か月連続、化学(同 2.5%減)が5か月ぶり、食料品・たばこ(同 6.8%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------|-------|-------|--------|------|-------|-------|--------|-------|
| 指数 | 96.4 | 102.5 | 90.7 | 93.9 | 90.3 | 90.2 | 82.3 | 86.1 |
| 前月比(%) | 6.4 | 6.3 | ▲ 11.5 | 3.5 | ▲ 3.8 | ▲ 0.1 | ▲ 8.8 | 4.6 |
| 前年同月比(%) | 3.8 | 31.6 | 22.8 | 8.7 | ▲ 1.3 | 0.1 | ▲ 11.1 | ▲ 9.6 |
| (参考)全国前年同月比(%) | 3.4 | 15.8 | 21.1 | 23.0 | 11.6 | 8.8 | ▲ 2.3 | ▲ 4.1 |

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| はん用・生産用・業務用機械工業 | ▲ 4.7 | 22.2 | 24.3 | 19.3 | 30.8 | 27.3 | 37.2 | 22.8 |
| 電気機械工業 | 12.6 | 35.9 | 25.7 | 21.3 | ▲ 11.3 | ▲ 7.8 | ▲ 20.6 | ▲ 20.0 |
| 輸送機械工業 | 6.3 | 101.8 | 64.6 | ▲ 3.9 | ▲ 16.1 | ▲ 12.0 | ▲ 33.0 | ▲ 21.6 |
| 化学工業 | 3.1 | 13.6 | ▲ 4.4 | 4.4 | 1.7 | 3.7 | 1.1 | ▲ 2.5 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | 0.5 | ▲ 0.3 | 1.7 | 3.2 | 5.6 | 6.8 | 2.3 | 0.4 |
| 食料品・たばこ工業 | ▲ 2.6 | 1.4 | 4.4 | 1.6 | 5.7 | ▲ 4.3 | ▲ 7.5 | ▲ 6.8 |

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

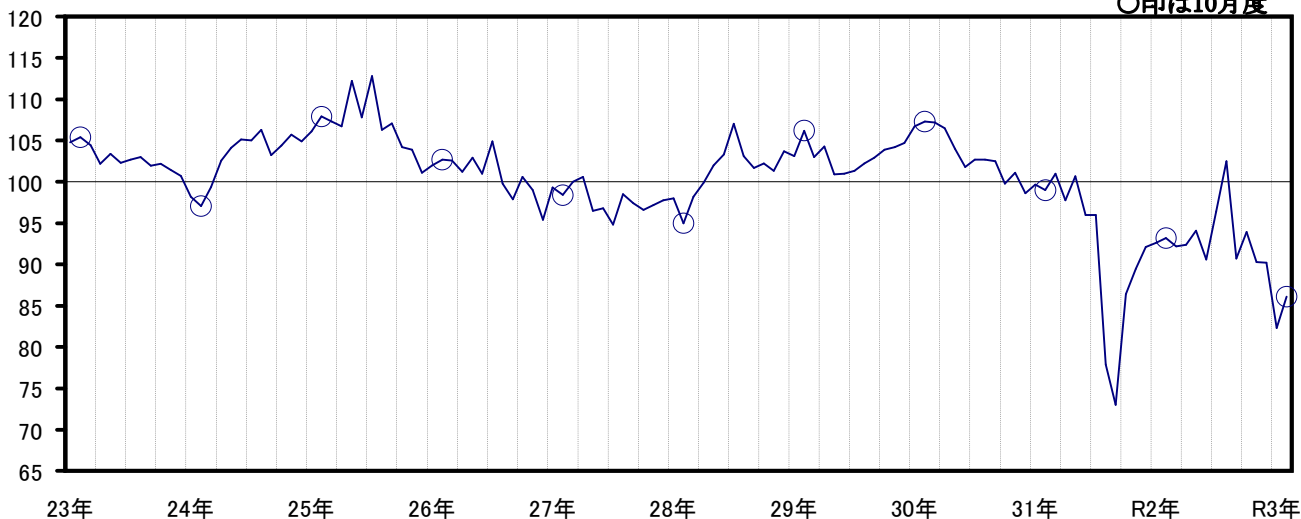
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は10月度



(2) 鋳工業在庫指数

10月 = 105.9

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 0.7%減

* 前年同月比(原指数) : 2.9%増

<概況>

10月の鋳工業在庫指数(総合)は105.9(季節調整済指数)で、前月比は0.7%減と、3か月ぶりに下降した。また、前年同月比(原指数)は2.9%増と、2か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、電気機械(前年同月比0.1%減)が4か月ぶり、輸送機械(同16.6%減)、パルプ・紙・紙加工品(同3.8%減)がいずれも5か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同2.3%増)が2か月連続、化学(同5.4%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同22.3%増)が2か月連続で連続前年水準を上回った。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 指数 | 100.7 | 105.3 | 102.2 | 102.6 | 99.4 | 101.3 | 106.7 | 105.9 |
| 前月比(%) | ▲5.8 | 4.6 | ▲2.9 | 0.4 | ▲3.1 | 1.9 | 5.3 | ▲0.7 |
| 前年同月比(%) | ▲5.7 | ▲2.7 | ▲5.8 | ▲3.2 | ▲7.5 | ▲4.2 | 1.5 | 2.9 |
| (参考)全国前年同月比(%) | ▲9.8 | ▲9.8 | ▲8.7 | ▲5.0 | ▲4.5 | ▲3.7 | 0.5 | 2.2 |

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| はん用・生産用・業務用機械工業 | ▲16.6 | ▲14.9 | ▲0.1 | ▲10.1 | ▲10.9 | ▲2.6 | 2.3 | 2.3 |
| 電気機械工業 | 17.8 | 5.5 | ▲3.3 | ▲1.3 | 8.2 | 15.8 | 4.8 | ▲0.1 |
| 輸送機械工業 | 6.6 | 87.9 | 11.9 | ▲3.1 | ▲16.1 | ▲18.1 | ▲17.0 | ▲16.6 |
| 化学工業 | ▲9.6 | ▲9.0 | ▲16.7 | ▲9.3 | ▲7.8 | ▲8.2 | 3.6 | 5.4 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | 8.0 | 7.4 | 0.3 | ▲5.2 | ▲2.4 | ▲5.4 | ▲5.3 | ▲3.8 |
| 食料品・たばこ工業 | ▲15.7 | ▲16.3 | ▲7.2 | 4.0 | ▲12.2 | ▲1.2 | 7.6 | 22.3 |

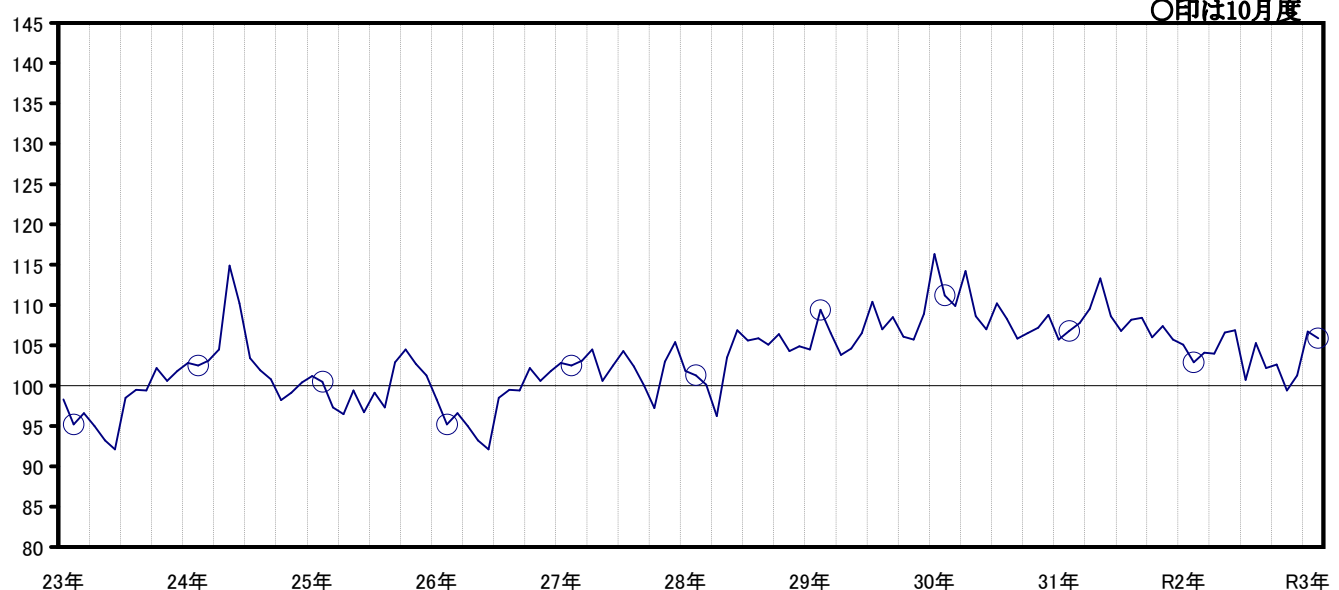
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

10月 = 1.16倍

*前月比(季節調整値) : 0.05ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

10月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.16倍となり、前月を0.05ポイント下回った。9か月連続で1倍台となった。また、5か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比15.6%増)は7か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比5.0%減)が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同1.5%増)が13か月連続、製造業(同40.1%増)が9か月連続、運輸業・郵便業(同18.5%増)が4か月連続、卸売業・小売業(同21.5%増)が5か月連続、医療・福祉(同7.5%増)が8か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同34.8%増)が9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 県 | 1.01 | 1.01 | 1.08 | 1.14 | 1.22 | 1.23 | 1.21 | 1.16 |
| 全 国 | 1.10 | 1.09 | 1.09 | 1.13 | 1.15 | 1.14 | 1.16 | 1.15 |

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------------------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 建 設 業 | 14.9 | 13.6 | 0.9 | 7.5 | 7.4 | 14.7 | 6.7 | 1.5 |
| 製 造 業 | 7.8 | 18.4 | 55.2 | 49.8 | 60.5 | 81.3 | 41.2 | 40.1 |
| 情 報 通 信 業 | 44.2 | ▲18.1 | 10.2 | ▲1.0 | ▲0.5 | 19.5 | 17.6 | ▲5.0 |
| 運 輸 業 ・ 郵 便 業 | ▲6.9 | ▲12.1 | ▲6.2 | ▲3.8 | 24.9 | 0.1 | 29.2 | 18.5 |
| 卸 売 業 ・ 小 売 業 | ▲9.2 | 11.1 | ▲6.9 | 22.6 | 24.4 | 6.4 | 2.6 | 21.5 |
| 医 療 ・ 福 祉 | 4.9 | 3.9 | 6.4 | 9.1 | 11.4 | 12.9 | 3.1 | 7.5 |
| サービス業(他に分類されないもの) | 14.1 | 31.1 | 35.1 | 43.4 | 91.1 | 34.6 | 30.5 | 34.8 |
| 合 計 | ▲0.7 | 12.1 | 13.0 | 16.7 | 29.7 | 18.2 | 14.3 | 15.6 |

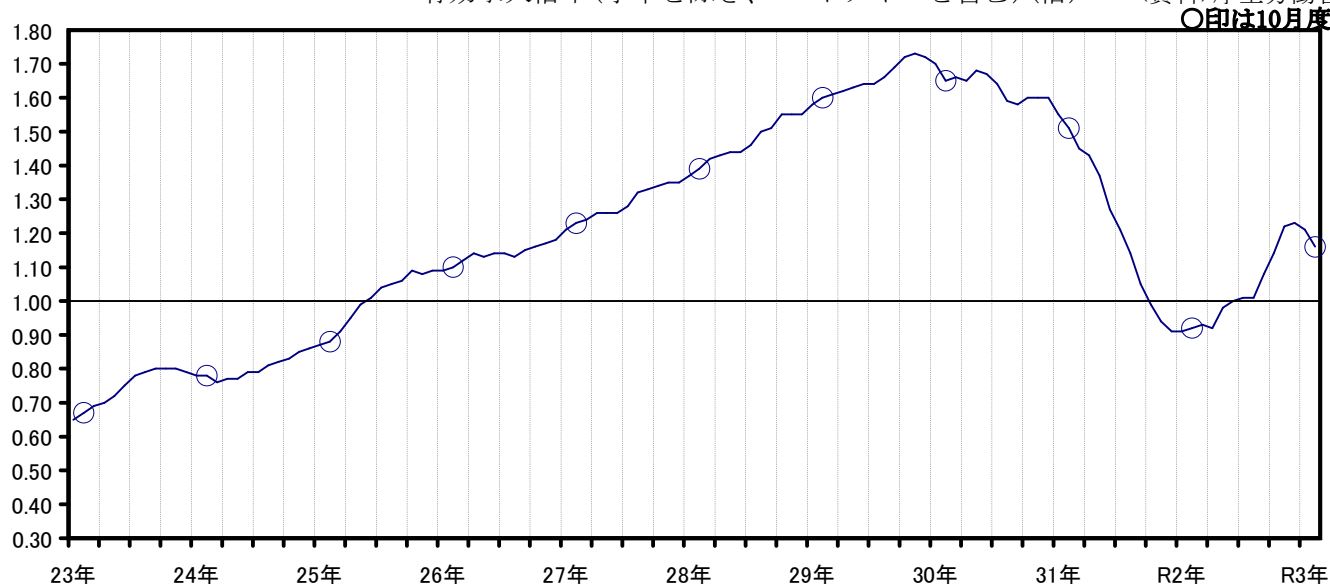
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

10月 = 12,261人

*前月比: 3.7%減

*前年同月比: 23.1%減

<概況>

10月の雇用保険受給者実人員は12,261人で、前月比は3.7%減と、3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は23.1%減と5か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.7%と前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(令和3年7~9月)の完全失業率は2.4%で、前期(令和3年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 実人員(人) | 12,526 | 12,153 | 12,079 | 12,876 | 13,183 | 13,112 | 12,737 | 12,261 |
| 前月比(%) | 0.2 | ▲3.0 | ▲0.6 | 6.6 | 2.4 | ▲0.5 | ▲2.9 | ▲3.7 |
| 前年同月比(%) | 22.9 | 23.0 | 3.7 | ▲9.2 | ▲18.6 | ▲22.2 | ▲23.7 | ▲23.1 |
| (参考)全国前年同月比(%) | 23.1 | 23.6 | 8.4 | ▲1.8 | ▲9.0 | ▲11.6 | ▲16.0 | ▲18.1 |

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

| | R3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 完全失業率(全国)(%) | 2.6 | 2.8 | 3.0 | 2.9 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 2.7 |

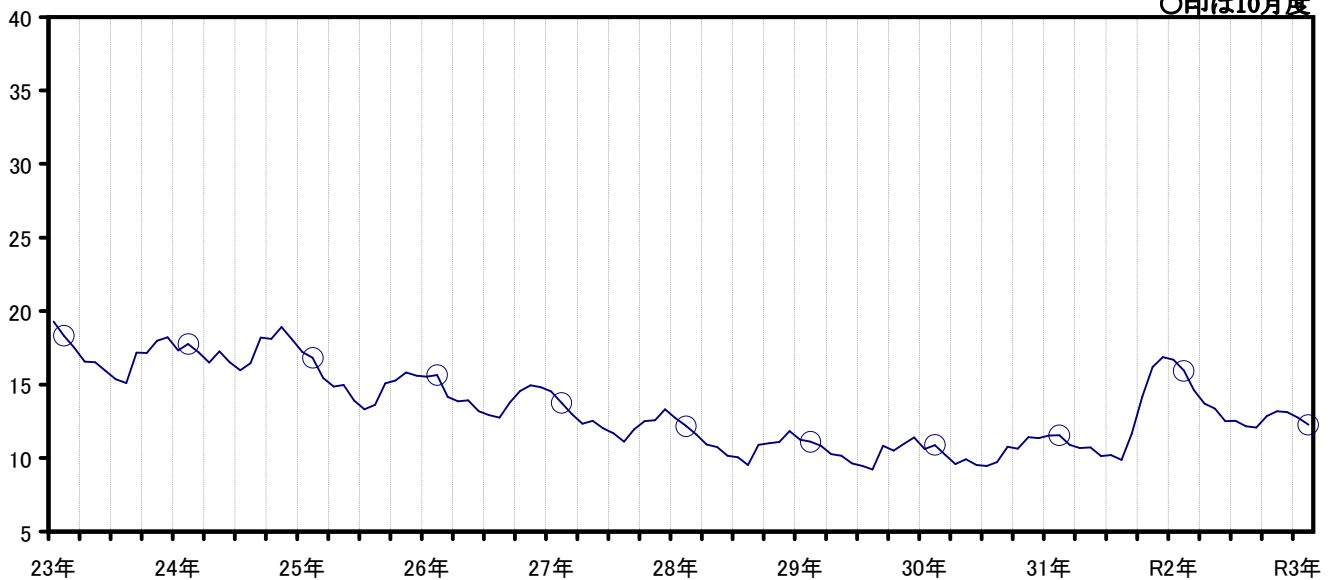
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省
○印は10月度



(3) 所定外労働時間指数

9月 = 71.5

*前月比(季節調整済指数): 10.3%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.9%減

<概況>

9月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は71.5(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は1.9%減と、6か月ぶりに前年実績を下回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比0.9%増)、運輸業・郵便業(同15.8%増)がいずれも6か月連続、卸売業・小売業(同24.1%増)が3か月連続、その他のサービス業(同41.2%増)が10か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同28.8%減)が3か月連続、情報通信業(同8.5%減)が22か月連続、医療・福祉(同13.7%減)が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

| | R3年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|----------------|-------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 指数 | 71.1 | 80.1 | 82.1 | 77.7 | 80.5 | 83.7 | 79.7 | 71.5 |
| 前月比(%) | ▲8.0 | 12.7 | 2.5 | ▲5.4 | 3.6 | 4.0 | ▲4.8 | ▲10.3 |
| 前年同月比(%) | ▲16.0 | ▲8.0 | 13.4 | 35.5 | 29.3 | 25.3 | 12.7 | ▲1.9 |
| (参考)全国前年同月比(%) | ▲8.3 | 0.9 | 15.2 | 28.9 | 22.6 | 15.5 | 10.2 | 5.7 |

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

| | R3年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 建設業 | ▲60.7 | ▲29.3 | ▲19.5 | 39.4 | 13.6 | ▲10.9 | ▲15.5 | ▲28.8 |
| 製造業 | ▲10.5 | ▲7.7 | 22.7 | 73.6 | 39.2 | 39.1 | 22.8 | 0.9 |
| 情報通信業 | ▲32.3 | ▲32.6 | ▲15.5 | ▲19.8 | ▲27.2 | ▲34.6 | ▲8.0 | ▲8.5 |
| 運輸業・郵便業 | ▲4.3 | ▲5.7 | 10.7 | 18.7 | 51.2 | 33.1 | 31.0 | 15.8 |
| 卸売業・小売業 | ▲20.6 | ▲20.8 | ▲20.7 | 1.6 | ▲3.1 | 32.8 | 33.7 | 24.1 |
| 医療・福祉 | ▲18.6 | ▲19.4 | 0.0 | ▲9.2 | ▲7.1 | 5.1 | ▲10.1 | ▲13.7 |
| その他のサービス業 | 41.3 | 76.8 | 108.9 | 87.0 | 80.3 | 60.4 | 41.2 | 41.2 |
| 調査産業計 | ▲16.0 | ▲8.0 | 13.4 | 35.5 | 29.3 | 25.3 | 12.7 | ▲1.9 |

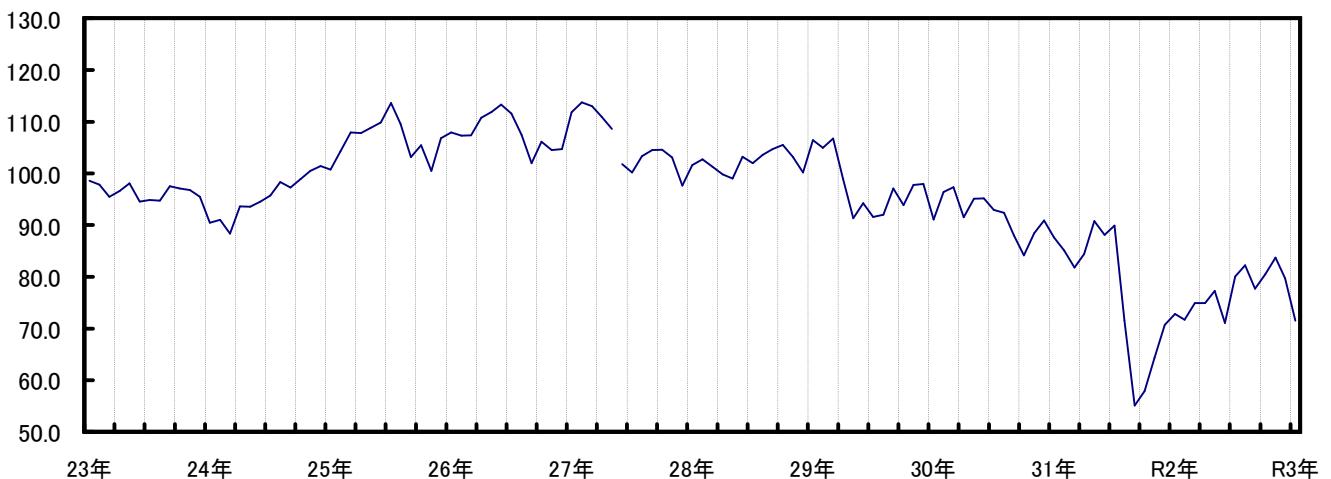
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

11月 = 108.7

(平成27年=100)

*前月比: 0.6%上昇

*前年同月比: 9.0%上昇

<概況>

11月の国内企業物価指数は108.7となり、前月比は0.6%の上昇となった。また、前年同月比は9.0%の上昇となった。

<最近の動き>

| | R 3年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国内企業物価指数 | 103.1 | 103.8 | 104.7 | 105.8 | 106.3 | 106.7 | 108.1 | 108.7 |
| 前月比 (%) | 0.9 | 0.7 | 0.9 | 1.1 | 0.5 | 0.4 | 1.4 | 0.6 |
| 前年同月比 (%) | 3.7 | 4.9 | 5.2 | 5.8 | 5.9 | 6.5 | 8.3 | 9.0 |

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

10月 = 142,571億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.4%減

*前年同月比: 1.9%減

<概況>

10月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,571億円で、前月比は0.4%の減少となった。また、前年同月比は1.9%の減少となった。

| | R 3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 貸出残高(億円) | 144,888 | 144,230 | 143,987 | 143,740 | 143,574 | 143,032 | 143,213 | 142,571 |
| 前月比 (%) | ▲ 0.3 | ▲ 0.5 | ▲ 0.2 | ▲ 0.2 | ▲ 0.1 | ▲ 0.4 | 0.1 | ▲ 0.4 |
| 前年同月比 (%) | 5.6 | 4.2 | 0.9 | ▲ 0.4 | ▲ 1.1 | ▲ 1.4 | ▲ 1.4 | ▲ 1.9 |

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

10月 = 1.394%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.002ポイント減

*前年同月差: 0.054ポイント減

<概況>

10月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.394%で、前月から0.002ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.054ポイントのマイナスとなった。

| | R 3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 貸出約定金利 (%) | 1.425 | 1.420 | 1.416 | 1.409 | 1.406 | 1.403 | 1.396 | 1.394 |
| 前月差(ポイント) | ▲ 0.005 | ▲ 0.005 | ▲ 0.004 | ▲ 0.007 | ▲ 0.003 | ▲ 0.003 | ▲ 0.007 | ▲ 0.002 |
| 前年同月差(ポイント) | ▲ 0.075 | ▲ 0.065 | ▲ 0.066 | ▲ 0.056 | ▲ 0.057 | ▲ 0.057 | ▲ 0.057 | ▲ 0.054 |

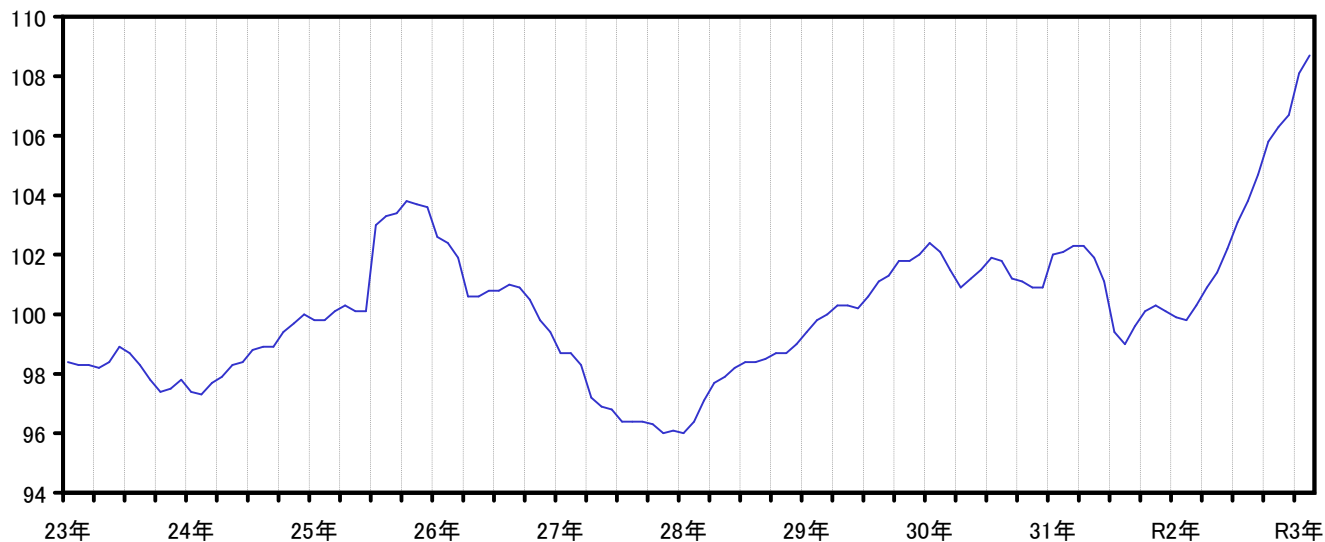
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

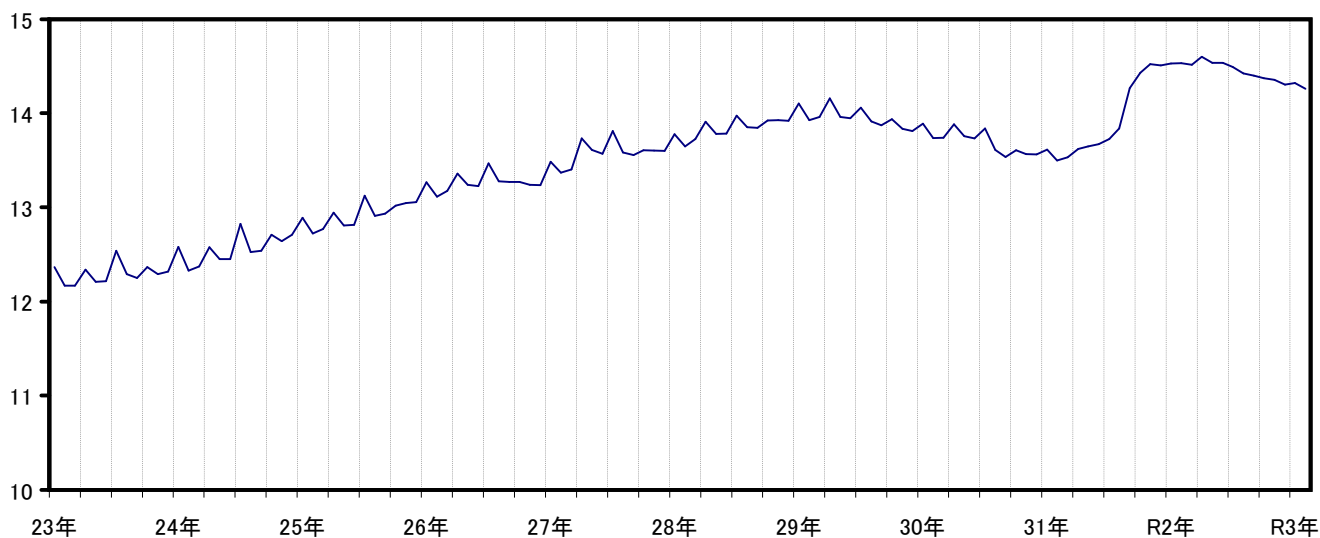
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



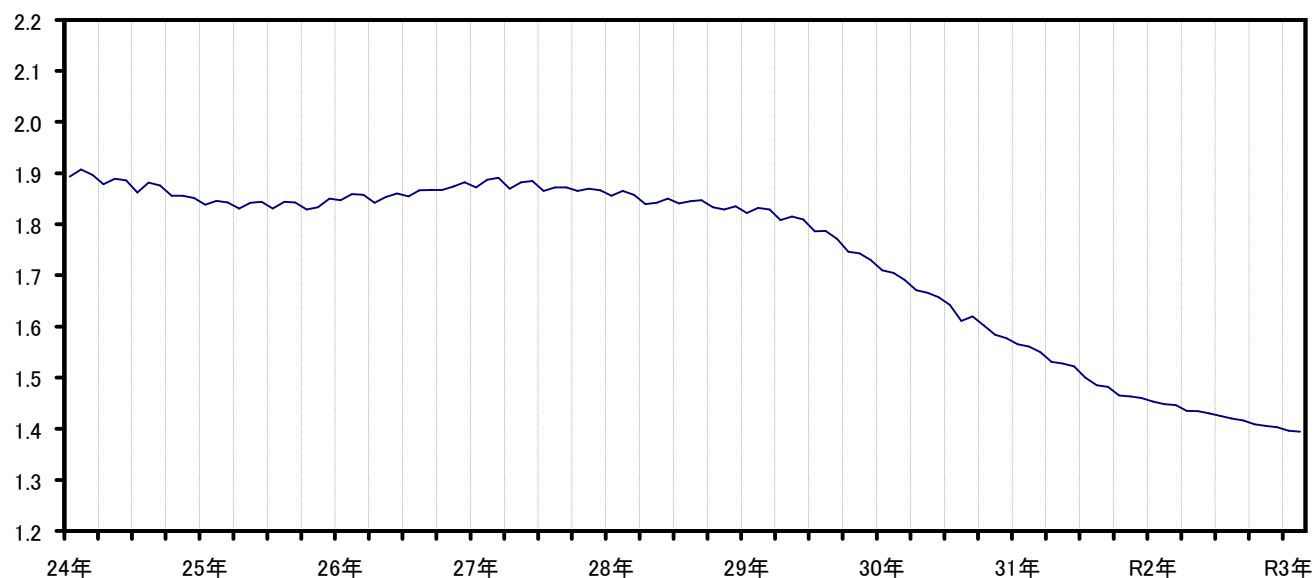
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**10月 = 14,839百万円**

*前年同月比： 37.2%増

<概況>

10月の保証承諾は、金額は14,839百万円（前年同月比 37.2%増）、件数は1,516件（同 43.5%増）と、いずれも20か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

| | R 3年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 保証金額（百万円） | 119,708 | 35,272 | 12,187 | 14,632 | 14,174 | 15,609 | 16,487 | 14,839 |
| 前年同月比（%） | 415.4 | 26.7 | 7.1 | 8.4 | 9.8 | 26.0 | 35.7 | 37.2 |
| 保証件数（件） | 7,953 | 2,794 | 1,197 | 1,527 | 1,405 | 1,636 | 1,795 | 1,516 |
| 前年同月比（%） | 308.0 | 45.4 | 14.0 | 12.6 | 13.6 | 34.1 | 46.8 | 43.5 |

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**11月 = 114.13円/ドル**

*前月差： 1.03円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 9.73円安

<概況>

11月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は114.13円で、前月と比べて1.03円の円安となり、3か月連続で円安となった。

<最近の動き>

| | R 3年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平均相場（円） | 109.13 | 109.19 | 110.11 | 110.29 | 109.84 | 110.17 | 113.10 | 114.13 |
| 前月差（円） | 0.48 | 0.06 | 0.92 | 0.18 | ▲ 0.45 | 0.33 | 2.93 | 1.03 |
| 前年同月差（円） | 1.20 | 1.88 | 2.55 | 3.51 | 3.80 | 4.43 | 7.86 | 9.73 |

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****11月 = 19件**

*前年同月比： 18.7%増

<概況>

11月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は19件（前年同月比 18.7%増）と、前年実績を上回り、負債総額は1,191百万円（同 28.1%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が16件と全体の84.2%を占め、288か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

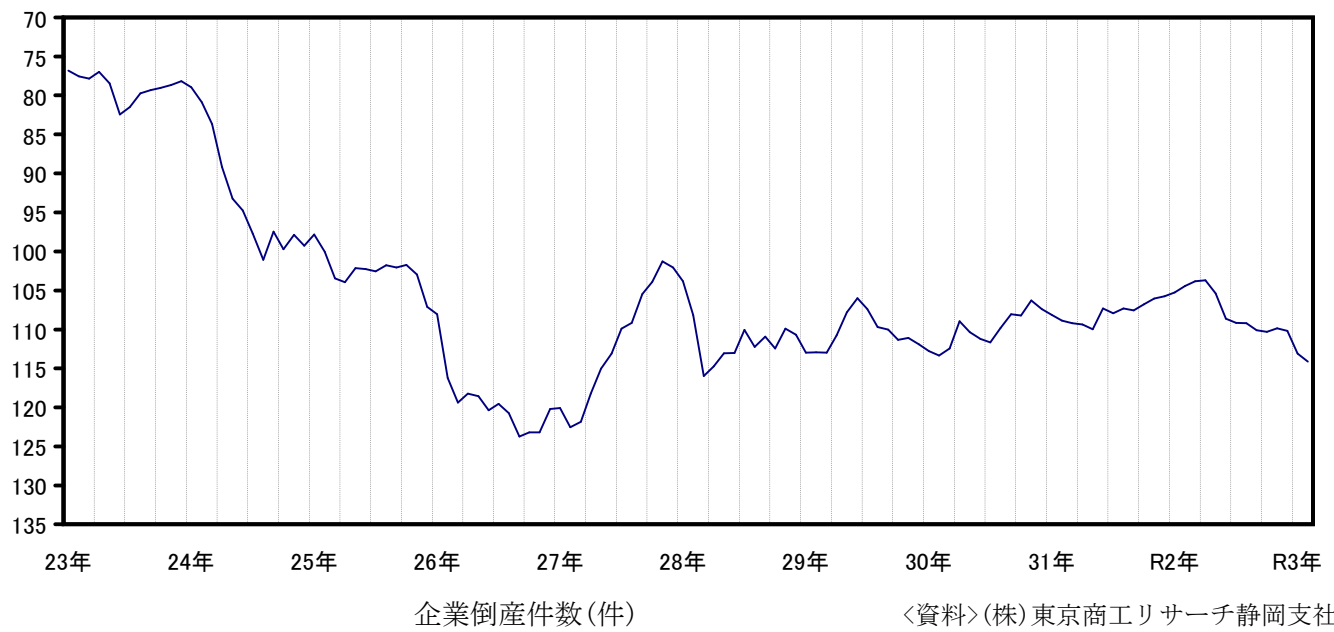
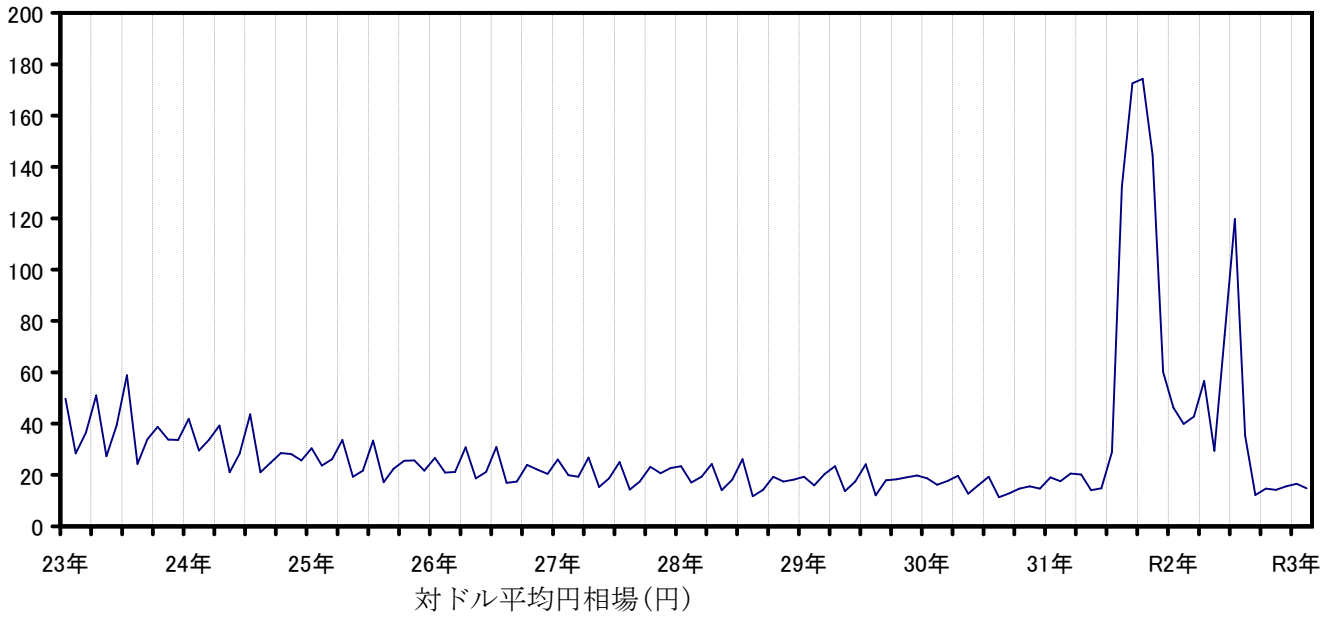
| | R 3年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|--------------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|---------|--------|
| 倒産件数（件） | 18 | 15 | 13 | 13 | 8 | 15 | 20 | 19 |
| 前年同月比（%） | ▲ 25.0 | 36.3 | ▲ 59.3 | ▲ 18.7 | ▲ 42.8 | 15.3 | 81.8 | 18.7 |
| うち不況型倒産件数(件) | 16 | 12 | 11 | 12 | 4 | 15 | 14 | 16 |
| 負債総額（百万円） | 3,029 | 2,492 | 1,544 | 1,263 | 835 | 1,037 | 22,541 | 1,191 |
| 前年同月比（%） | ▲ 59.5 | 49.3 | ▲ 35.6 | ▲ 27.0 | ▲ 56.2 | ▲ 8.7 | 2,686.2 | ▲ 28.1 |

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

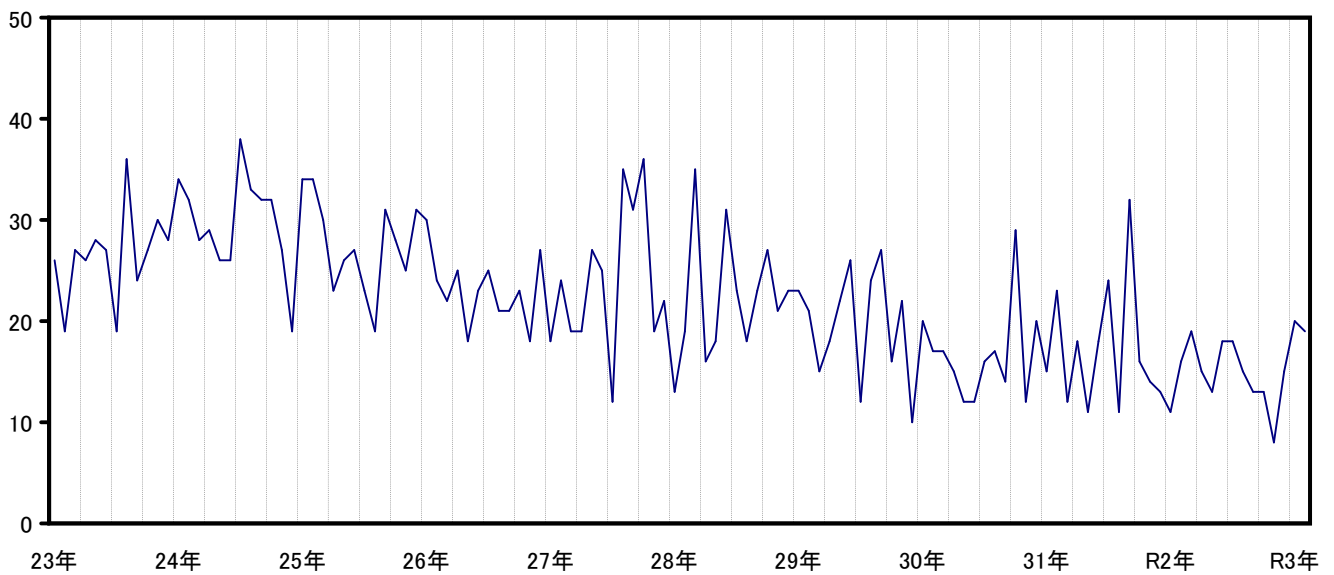
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和3年10月を中心とした静岡県主要産業の動向

| 業 種 | 産 業 動 向 |
|-------|---|
| 二 輪 車 | <p>9月の国内二輪車生産台数は、53,750台（前年同月比 28.0%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、16,731台（同 64.5%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、7,399台（同 60.3%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,549台（同 30.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、25,071台（同 21.3%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、34,813台（同 0.0%（10台増））で、6か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、31,375台（同 10.4%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p> |
| 自 動 車 | <p>9月の自動車国内生産台数は、431,341台（前年同月比 47.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。輸出は199,996台（同 47.1%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が2か月連続、トラックが8か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p> |
| 電気機械 | <p>10月の冷蔵庫の国内出荷額は267億円（前年同月比 23.6%減）で、5か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は232千台（同 17.3%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>10月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは347千台（同 8.4%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。業務用は64千台（同 0.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>10月の携帯電話の国内出荷台数は、936千台（同 3.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、728千台（同 8.2%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は77.8%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p> |
| 生産用機械 | <p>10月の工作機械の受注総額は、1,492億2,200万円（前年同月比 81.5%増）で、12か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は989億3,300万円（同 85.5%増）で、12か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが411億9,200万円（同 45.6%増）で、16か月連続で前年実績を上回った。内需は502億8,900万円（同 74.1%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「半導体不足、原油価格動向等から、部品資材価格が上昇しており、春先以降改善していた収益への圧迫懸念が強まっている。」「海外向け受注が増える中、コロナ禍による派遣要員に苦慮。家族の反対もあって、退職に至るケースが発生している。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p> |

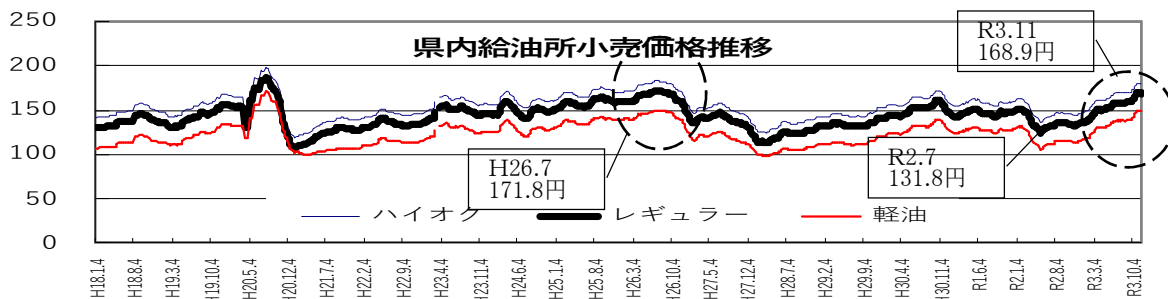
| 業 種 | 産 業 動 向 |
|-------|---|
| 楽 器 | <p>10月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億3,150万円（前年同月比21.5%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが35億3,379万円（同35.7%増）で、国内向けが19億9,771万円（同2.6%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,619台（同8.1%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,503台（同8.9%増）、グランドピアノが1,116台（同6.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,952台（同17.3%増）、国内向けが1,063台（同3.7%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p> |
| 紙 | <p>10月の紙・板紙の国内出荷高は、1,881千トン（前年同月比1.1%減）で、7か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は911千トン（同2.2%減）で、7か月ぶりに前年実績を下回った。板紙は970千トン（同0.0%）と、前年と比較して横ばいだった。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、474千トン（同4.4%減）で、7か月ぶりに前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、155千トン（同1.6%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p> |
| 缶詰・飲料 | <p>10月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,043千箱（前年同月比2.4%減）と7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は715千箱（同2.6%減）と8か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は454千箱（同10.3%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は328千箱（同2.0%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,805千箱（同7.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p> |
| 織 維 | <p>10月の広幅織物の県内生産は、685千㎡（前年同月比2.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、632千㎡（同4.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、53千㎡（同15.6%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、14千㎡（同13.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p> |
| 家 具 | <p>10月の全国百貨店での家具販売額は、42億6,445万円（前年同月比0.9%増）と4か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、548億372万円（同9.9%減）と6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p> |

| 業 種 | 産 業 動 向 |
|-------|--|
| 小 売 業 | <p>10月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,908百万円（既存店前年同月比 0.8%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、身の回り品、飲食料品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、衣料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して、売上げ及び来客数が増加した。県内に発出されていた緊急事態措置の解除に伴い、消費者の購買マインドが高まり、物産展の売上げが非常に好調であった。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、食料品や美容関係品等の好調により、前年同月と比較して、売上げ及び来客数が増加した。一方で、気温が比較的高かった影響により、冬物の衣服や家電の売上げが伸び悩んだ。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、緊急事態措置の解除に伴い、外食の需要が高まったことで、内食需要が減少し、前年同月と比較して、売上げ及び来客数が減少した。当月は、新型コロナウイルスの感染拡大が比較的落ち着いていたこともあり、外出が増えたことで家庭で料理をする際に必要な調味料や材料の売上げが伸び悩み、手軽に食べられる弁当・惣菜の売上げが伸びるなど、前年とやや対照的な動きが見られた。</p> <p>〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p> |
| 観 光 | <p>令和3年10月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約39万人で、前年同月比 1.5%減となった。</p> <p>本年の10月は、前月末日で国の緊急事態宣言の適用が解除となり、制限が段階的に緩和されるとともに、反動需要により前年並みの入込数まで回復していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線※1）の合計通行車両数は、約50万台となり、前年同月比 10.4%減となった。</p> <p>※1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたため）。</p> <p>〈資料〉 静岡県観光政策課</p> |

＜原油高の状況について＞

新型コロナからの経済活動再開に伴う需要増大と、景気先行き不透明を理由とした、減産による需給ギャップに伴い、原油価格が上昇している。

原油価格は、令和2年4月時点の14円/Lを底に、令和3年10月時点で58円/Lまで上昇（44円増）。これに伴い県内の給油所小売価格も上昇し、10月時点（10/25）で168円/Lと、平成26年7月以来8年ぶりの高水準となっている。（12/20時点 164.0円/L）



○支援策（国・県）

| | |
|-----------|---|
| 資金繰り支援 | 原油価格上昇により粗利益が減少した事業者への県制度融資典 県石油情報センター |
| 燃油価格補填 | 燃油価格が一定基準を上回った場合にその差額を補填（国） （対象：施設園芸農家、茶生産者、漁業者・養殖業者） |
| 省エネ機器導入支援 | 茶の生産・加工関連の省エネ機械等のリース導入支援（国） |
| その他（国） | ・ガソリン平均価格が170円/Lを超えた場合、5円を上限に石油元売りに補助 ・国家備蓄の一部（約400万バレル目安）を放出（米中等と協調し実施） |

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

| | R3年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 完成車生産台数(台) | 25,160 | 29,543 | 23,811 | 16,652 | 22,864 | 22,599 | 20,832 | 17,275 | 16,733 |
| 前年同月比(%) | ▲ 3.2 | 43.2 | 28.9 | 245.4 | 86.3 | 63.1 | 44.6 | ▲ 18.7 | ▲ 20.0 |
| KD輸出額(百万円) | 1,689 | 1,396 | 1,376 | 785 | 1,066 | 1,166 | 926 | 1,476 | 1,075 |
| 前年同月比(%) | 8.3 | ▲ 8.4 | 27.3 | 2,321.4 | 102.8 | 126.7 | 82.9 | 124.4 | ▲ 17.8 |

<楽器>

| | R3年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生産総額(百万円) | 2,716 | 3,003 | 3,133 | 2,621 | 3,331 | 3,064 | 2,563 | 3,003 | 3,020 |
| 前年同月比(%) | 0.3 | ▲ 5.2 | 56.9 | 131.9 | 56.5 | 31.8 | 42.4 | 28.3 | 4.6 |

<缶詰>

| | R3年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 食缶生産高(千ケース) | 912 | 1,013 | 1,063 | 966 | 1,117 | 1,027 | 975 | 1,065 | 1,043 |
| 前年同月比(%) | 8.4 | 0.7 | ▲ 9.4 | ▲ 12.6 | ▲ 2.4 | ▲ 3.3 | ▲ 5.2 | ▲ 4.7 | ▲ 2.4 |
| うち水産缶詰(%) | 8.6 | ▲ 4.4 | ▲ 13.4 | ▲ 16.0 | ▲ 7.9 | ▲ 5.4 | ▲ 7.1 | ▲ 11.2 | ▲ 2.6 |
| 農畜産缶詰(%) | 7.9 | 11.1 | 1.1 | ▲ 2.8 | 13.4 | 2.0 | ▲ 0.2 | 13.0 | ▲ 2.0 |
| 飲料缶生産高(千ケース) | 5,164 | 7,768 | 8,200 | 7,865 | 7,478 | 7,698 | 7,702 | 5,606 | 5,805 |
| 前年同月比(%) | ▲ 14.0 | ▲ 6.0 | 5.9 | 12.6 | 4.0 | ▲ 9.2 | 5.0 | ▲ 13.7 | ▲ 7.2 |

<繊維>

| | R3年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|------|-----|--------|--------|
| 広幅織物(千㎡) | 749 | 714 | 703 | 661 | 683 | 664 | 579 | 648 | 685 |
| 前年同月比(%) | ▲ 38.4 | ▲ 38.6 | ▲ 31.6 | ▲ 12.5 | ▲ 6.7 | 0.2 | 0.4 | 1.2 | 2.8 |
| 小幅織物(千㎡) | 18 | 18 | 18 | 15 | 16 | 14 | 13 | 13 | 14 |
| 前年同月比(%) | ▲ 23.3 | ▲ 16.3 | ▲ 10.2 | ▲ 12.3 | 4.7 | 34.9 | 0.7 | ▲ 14.0 | ▲ 13.0 |

<観光>

| | R3年2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------------|--------|-------|-------|---------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 延べ宿泊者数 (千人泊) | 702 | 1,222 | 1,070 | 1,096 | 908 | 1,355 | 1,636 | 901 | 1,203 |
| 前年同月比(%) | ▲ 54.9 | 0.2 | 132.0 | 184.1 | 35.3 | 29.1 | 4.9 | ▲ 26.4 | ▲ 17.3 |
| 観光施設(10施設)入込 (千人) | 290 | 377 | 413 | 430 | 217 | 251 | 267 | 89 | 390 |
| 前年同月比(%) | ▲ 3.4 | 9.3 | 215.5 | 1,906.7 | ▲ 7.3 | 12.3 | ▲ 31.4 | ▲ 73.9 | ▲ 1.5 |
| 有料道路(4路線)通行量 (千台) | 470 | 555 | 526 | 559 | 496 | 611 | 610 | 499 | 570 |
| 前年同月比(%) | ▲ 15.4 | 4.3 | 65.5 | 77.1 | 18.1 | 25.0 | ▲ 11.2 | ▲ 10.4 | ▲ 0.5 |

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

| 需要面 | 生産面 | 雇用面 | その他 |
|--------------|----------|-------------|-------------|
| ・大型小売店販売額 | ・鉱工業生産指数 | ・有効求人倍率 | ・国内企業物価指数 |
| ・専門量販店等販売額 | ・鉱工業在庫指数 | ・雇用保険受給者実人員 | ・県内金融機関貸出残高 |
| ・自動車新規登録台数 | | ・完全失業率 | ・信用保証協会保証金額 |
| ・新設住宅着工戸数 | | ・所定外労働時間指数 | ・企業倒産件数 |
| ・清水税関支所管内輸出額 | | | |
| ・清水税関支所管内輸入額 | | | |

提供いただいている資料

| 資料名 | 提供元 | ホームページアドレス |
|----------|-------------|---|
| 公共工事請負金額 | 東日本建設業保証（株） | http://www.ejcs.co.jp/region/index.html |
| 設備投資 | 日本銀行静岡支店 | http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html |
| 貸出約定金利 | | |
| 国内企業物価指数 | 日本銀行 | http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm |
| 円相場 | | |

参考となる全国の資料等

| 資料名 | 提供元 | ホームページアドレス |
|-----------|-------|---|
| 鉱工業生産指数 | 経済産業省 | http://www.meti.go.jp/statistics/index.html |
| 大型小売店販売額 | | |
| 専門量販店等販売額 | | |
| 輸出入 | 財務省 | http://www.mof.go.jp/siryou.htm |
| 国際収支 | | |
| 機械受注 | 内閣府 | http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html |
| 完全失業率 | 厚生労働省 | http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html |
| 有効求人倍率 | | |

静岡県月例経済報告
令和3年12月号 通巻548号

発行 静岡県経済産業部
令和3年12月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>